



ŌMIYA NEWS



No.244 2023年6月1日 JR東労組大宮地本

組合員・未加入者は怒っている！ 夏季手当 満額回答を勝ち取るぞ！！

～とある職場における組合員・未加入者の声～

運輸業はまだ赤字だと会社は言うが、鉄道業収入はコロナ禍から3200億円増収！回復率では鉄道業収入が一番大きく、それがなければ黒字化はなかった。

コロナからの回復を担い大幅増収を実現したのは私たちがなのに、その努力が「赤字」の一言で片づけられている。納得がいかない！

駅は駅ナカも含めて混雑。帰省だけでなくインバウンド利用も目立ち、大変好調で業績回復は明らか。会社は社員の努力に報いるべきだ！

業績回復したのにコロナ前に戻さないならいつ出すのか！それでは若手はどんどん退職する！残る社員もモチベーションは上がらない。会社の発展も社員・家族の幸福を実現できるはずはない。



会社施策の推進＝社員・家族の幸福と言うのであれば、職場で苦勞して施策を担っている我々に対し満額回答で報いるべきだ！

扶養手当の増額5000円では物価上昇に全く追いつかない！社員の生活を考慮するなら賃上げと満額回答で報いるべき。



会社は「単体の営業利益が目標に満たない」ことを「出さない理由」としているようだが、「目標に満たない」のであれば、まずは経営陣が責任を取るべき！

「目標に満たない」ことを理由に夏季手当を出し渋るのであれば、絶対に許せない！

業務の負担は増大している。また単に業務量の問題だけでなく、精神面でも気を遣うことが増え疲労が増している。しかしこの間賃上げが抑えられ、労働実感に対して全く努力に報いていない！

物価上昇で生活は本当に厳しくなっている。単に我慢すればよいレベルではない！この状況でも夏季手当をコロナ前に戻さないなら怒りしかない！

今こそ職場のたたかいで満額回答勝ち取るぞ！